

留学生と創る！祇園祭サステナブル読本！ (文化継承と観光産業)

春学期からちまき作りなどの体験や関係者への取材を活発に行い、読本制作や留学生向けワークショップ、UNWTO に対するプレゼンテーションなどのアウトプットに結びつけていました。例年 10 人以上で行っているプロジェクトを 5 人でやり遂げたことは本当に素晴らしいことだと思います。特に 11 月、12 月は読本制作とワークショップやプレゼンテーションの準備が重なり、大変だったと思います。その中でも多くのことを成し遂げられたのは、皆さんが互いを思いやり、協力し合っていたからだと思います。授業でも活発に意見を交わし、楽しそうに活動する皆さんを見て、本当に良いチームになったなと感じています。1 年間本当にお疲れ様でした。

京都の伝統織物ができるまで ーオンライン体験を考えるー

本プロジェクトの履修生にとって、この 1 年間は実りあるものになったのではないのでしょうか。春学期は履修生 4 名からはじまり、秋学期には履修生が 1 人減り 3 名になりました。その分、一人一人の仕事量も通常より多かったと思います。それでも、3 人という人数の少なさを逆手に取って、連携を強めながら最後まで取り組むことができました。必要な時には他の履修生に助けを求めつつも、全員が自身の仕事を全うした結果、イベントでは想定以上の参加者が集まるなど、成功を納めることができました。SA から見ても、このチームワークは本履修生の 1 番の強みだと感じています。今回の成果や学びを糧として、今後もチームで協働する力を培っていきましょう。

クリエイティブな映像制作で インターネットの安心安全を守る！

今年度の受講生が活動している姿を見ていると、私自身刺激を受けることが多くありました。一人一人が主体的に活動を進め、その輪が大きく広がっていく様子は、プロジェクト科目の醍醐味であると思います。その中で、お互いの友情が深め、困難な課題を協力して超えていくことは、何物にも代え難い財産になっていくと、第三者になることで気がつくことができました。メンバーたちは個々の色が強く、それぞれが得意分野で戦っていたため、授業が進むにつれて支柱が段々と強く確かなものになっていく感覚を覚えました。初めは不安に残る空気間でありましたが、今では全員が全員を頼れる環境になっていると思います。素直に羨ましいと、僕はそう思いました。

京丹後移住促進プロジェクト ～新たな地方移住の仕組みづくり～

1年間の活動、お疲れ様でした。昨年度に引き続き、本年度はSAとして本プロジェクトに携わらせて頂きました。このプロジェクトは学生と担当教員の方々だけで完結するものではなく、京丹後地域の方々との関係性を築きながら活動を進めていく大変さもあったと思います。そんな中でメンバーそれぞれがリーダーシップを発揮し、「移住促進」という答えのない問いに対して全力で取り組む姿が印象的でした。徹底的に分析し、エビデンスに基づいたアプローチを模索そして現地訪問・ワークショップ実施のために精一杯全力を尽くした経験はこの科目を履修したからこそできた経験であると思います。プロジェクト終了後も京丹後地区を共に訪問し、また「移住促進」というテーマについて語り合うことができる日を楽しみにしています。

京都・西陣織の工房見学を通じて プロモーションを企画しよう！

昨年度に引き続き、本年度はSAとしてプロジェクトに携わらせていただきました。昨年度とは異なり、本年度は着物のプロモーション方法や手段を全て自分たちで決めるという自由度の高さゆえに、選択の幅が広く難しさもあった中、素敵なイベントを企画してくれました。

毎回の講義では、それぞれが意見を出し合い、活発に活動することができていたと思います。全員が能動的に参画していて、安心して活動を見ていることができました。また、西陣織の工房見学や皆さんの議論を通じて、私自身たくさんの気づきを得ることができ、貴重な経験をさせていただきました。一年間、一緒に活動ができたことを光栄に思います。

最後になりますが、履修生の皆さん、先生方、お世話になった皆様、一年間本当にお疲れ様でした。

障がい者の就労をサポートする 広報と商品開発

1年間を通して本当にお疲れ様でした。今年度からのテーマということもあり、やりたいことと実現できることのギャップに苦勞されたことと思います。自分自身が昨年度に経験した、トライ&エラーを繰り返しながら、アイデアを形にしていく面白さを皆さんも感じていらっしゃれば幸いです。また履修生の減少という事態に直面しても、最後までやり抜かれた姿勢に僭越ながら感銘を受けておりました。1年間の経験やそこから得られた学びを次年度、また社会人になっても活かしてってください！

実践で学ぶ！ 中小企業の経営コンサルティング

訪問を重ね何度も行った事業者様へのヒアリングや、実際に現場に出て行ったアンケート調査、そしてそれらを分析し、課題解決のためにはどのようなことができるのか。様々な試行錯誤を重ね続けてきた1年であったと思います。特に今年度から始まったプロジェクトであり前例がないことも含め、多くの困難や企業支援の難しさにぶつかったと思います。ですが、この授業で出会った仲間たちとアイデアを出し合い、事業者様とのコミュニケーションを積極的に取りながら利益向上のために様々な策を講じる姿は、とてもかっこよかったです。そうしたチームの頑張りがあったからこそ、事業者様からは喜びと感謝のお言葉をいただくことができ、実を結んだのだと思います。1年間本当にお疲れ様でした。

ツーリストシップを通じた観光課題の解決

TAとして授業内容に介入する事は少なかったですが、ツーリストシップの授業は私自身も参加していて非常に楽しく、学ぶことも多いものとなりました。授業以外にも大変な事も多かったと思います。申請書類の作成や、調査、計画の実施、プレゼン等、膨大な作業を授業時間外によく頑張ったと思います。

しかし、「観光課題の解決策」のような、答えの無い特定の課題について真摯に考え、その解決策を長期間に渡って模索し、具体的に対策を実施し、評価するという経験は、社会に出ても求められるスキルだと思います。今後の大学生活を送る上でも、社会に出た後も、授業で学んだ事を活かせる機会がきっと来ます。皆さん、自身を持って残りの大学生活を楽しんで下さい。

改めて、お疲れ様でした！